

ねえ
お姉ちゃん、あの人……
ちよつと怖いね

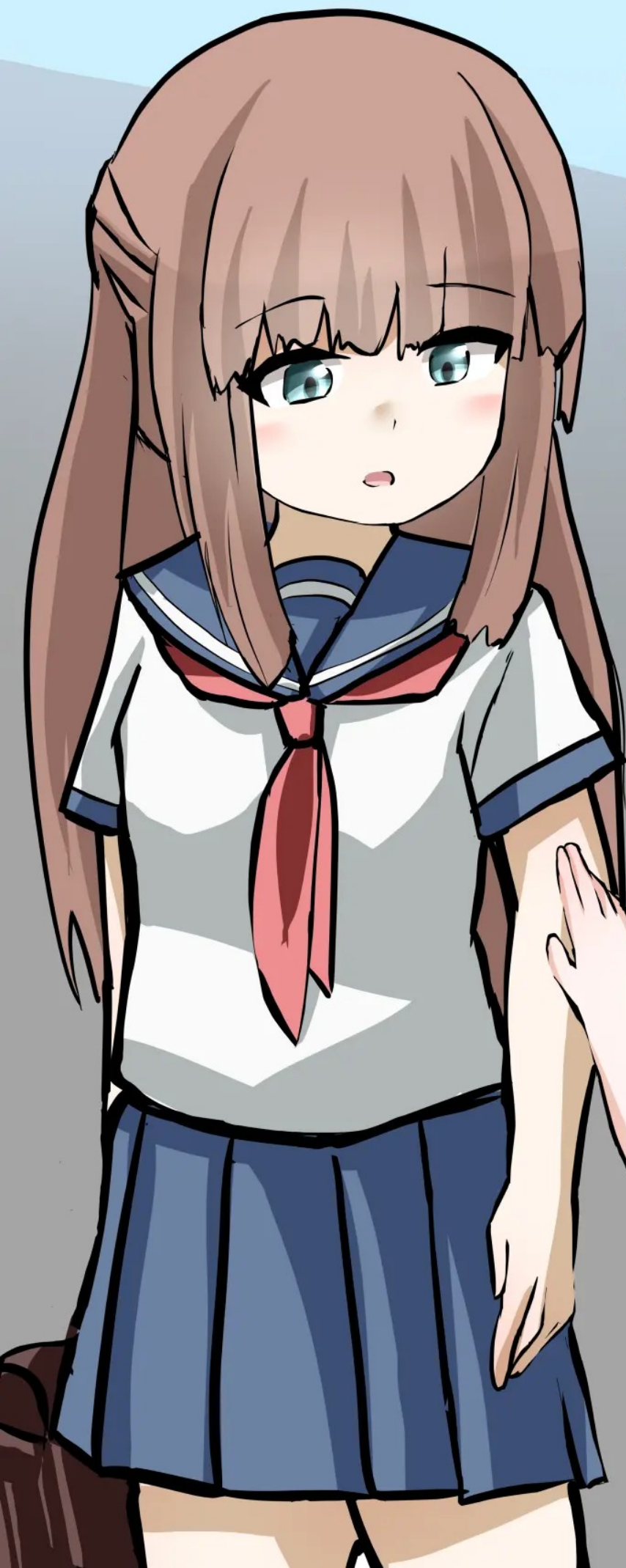
あの人？
誰もいないわよ？

……え

ほらっ、あそこ……

立ってるよ……

お姉ちゃん、見えないの!?



ひっ
こっち来たよっ
話しかけてくるっ

お姉ちゃん、
聞こえないの!?

「にきたいがほしい」って

なにも聞こえないわ
ね、大丈夫。
誰もいないわ。

今日は学校、お休みしましょう
熱はある? どこか痛くない?



い、いやっ
っ、掴まれて……

助けてっ
お姉ちゃん！

す、すぐに
救急車呼ぶから



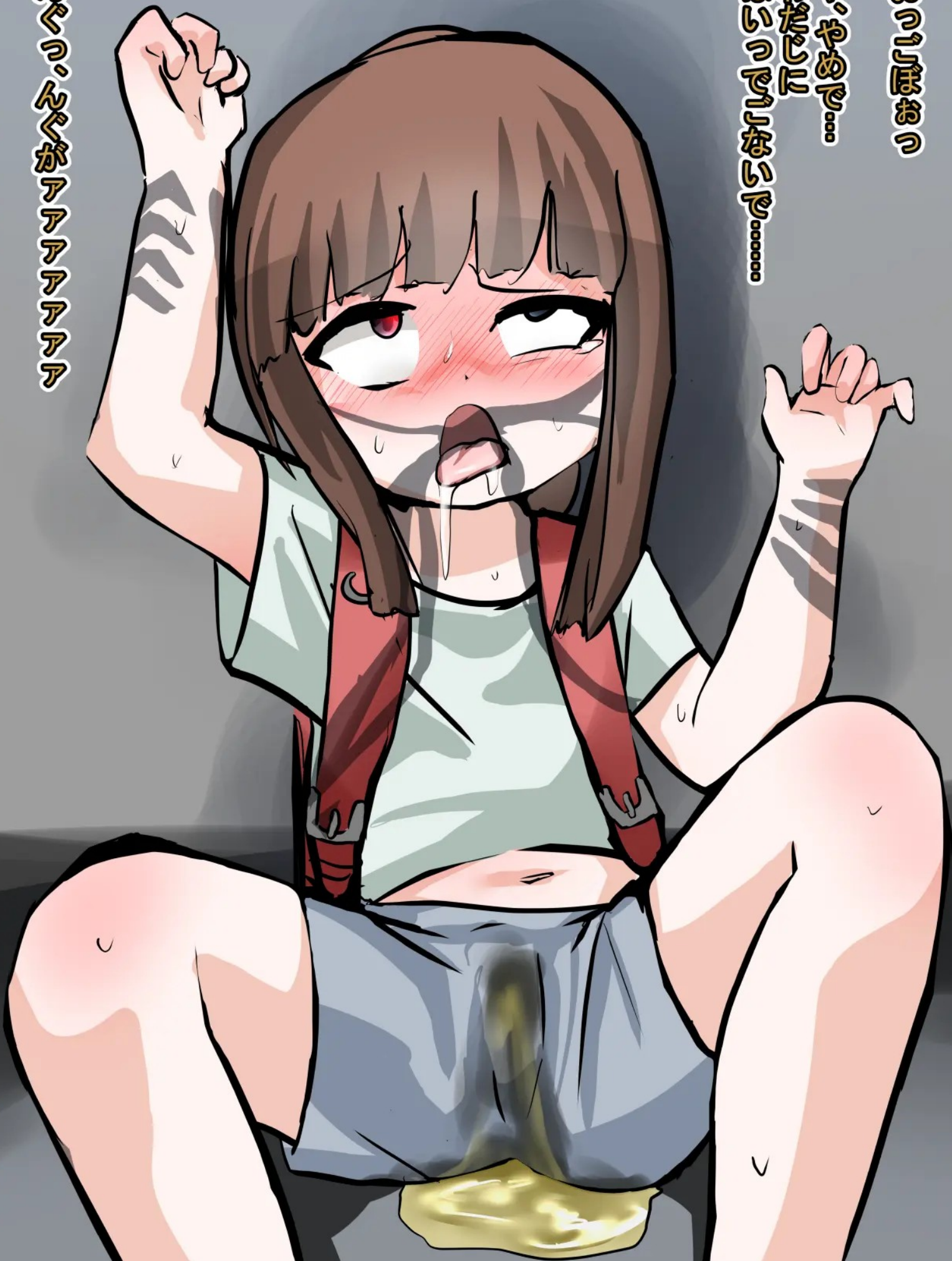
おっほおっ

や、やめで…

わだじに

はいつで「ないで……

んぐっ、んぐがアアアアアア



あ……
あ……
あ……

あひや、あひやひや

久しぶりの
肉体……

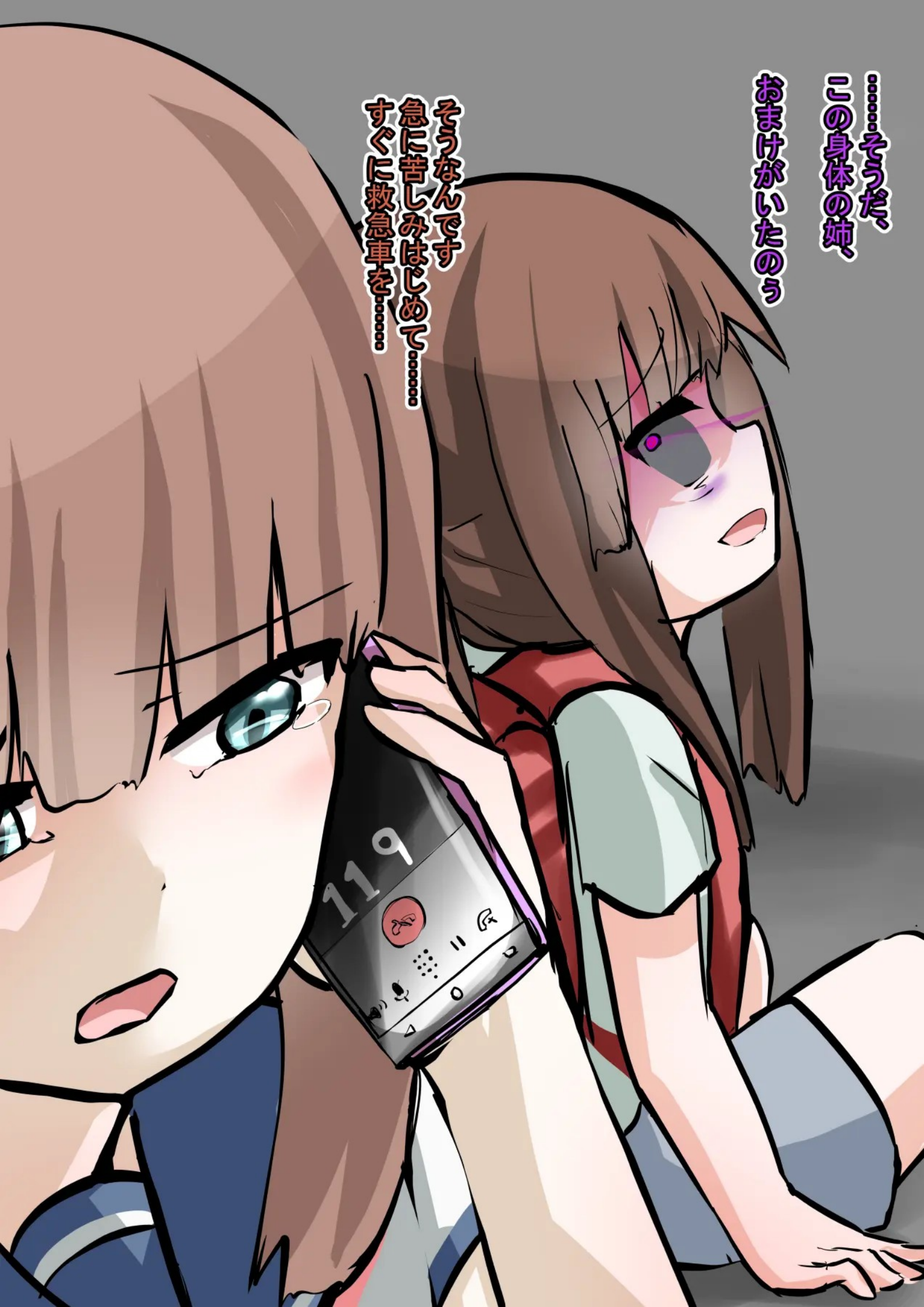
今度は壊れないよう
長持ちさせないとこのう



……そうだ、
この身体の姉、

おまけがいたのう

そうなんです
急に苦しみはじめて……
すぐに救急車を……



んおっ
んぐおっ
やはり、肉の悦楽っ

このための肉体よおっ
乳首もつねっただけでっいぐっ



ちと幼いかと思ったが
強制発情させてしまえば
メスはメスよのう

あひやひや

しかし、このメスも哀れよ

妹への愛情を少し書き換えただけで
従順な奴隷になり下がりをうた

肉体に奴隷……
此度はより多くの悦楽を
貪れそうよ

この身体が壊れるまで
よるしくのう、お姉ちゃん。
あひやひや

